



創薬・
ヘルスケア

細胞には、タンパク質の 「品質管理システム」がある

構造異常タンパク質の蓄積は、 なぜ病気につながるのか？

タンパク質は、正しい立体構造になって初めて機能します。
私たちは、細胞の小胞体ストレス応答（UPR）がいかに恒常性維持に関与しているのか、その実体を解明します。



森 和俊 教授
薬学部 薬学科

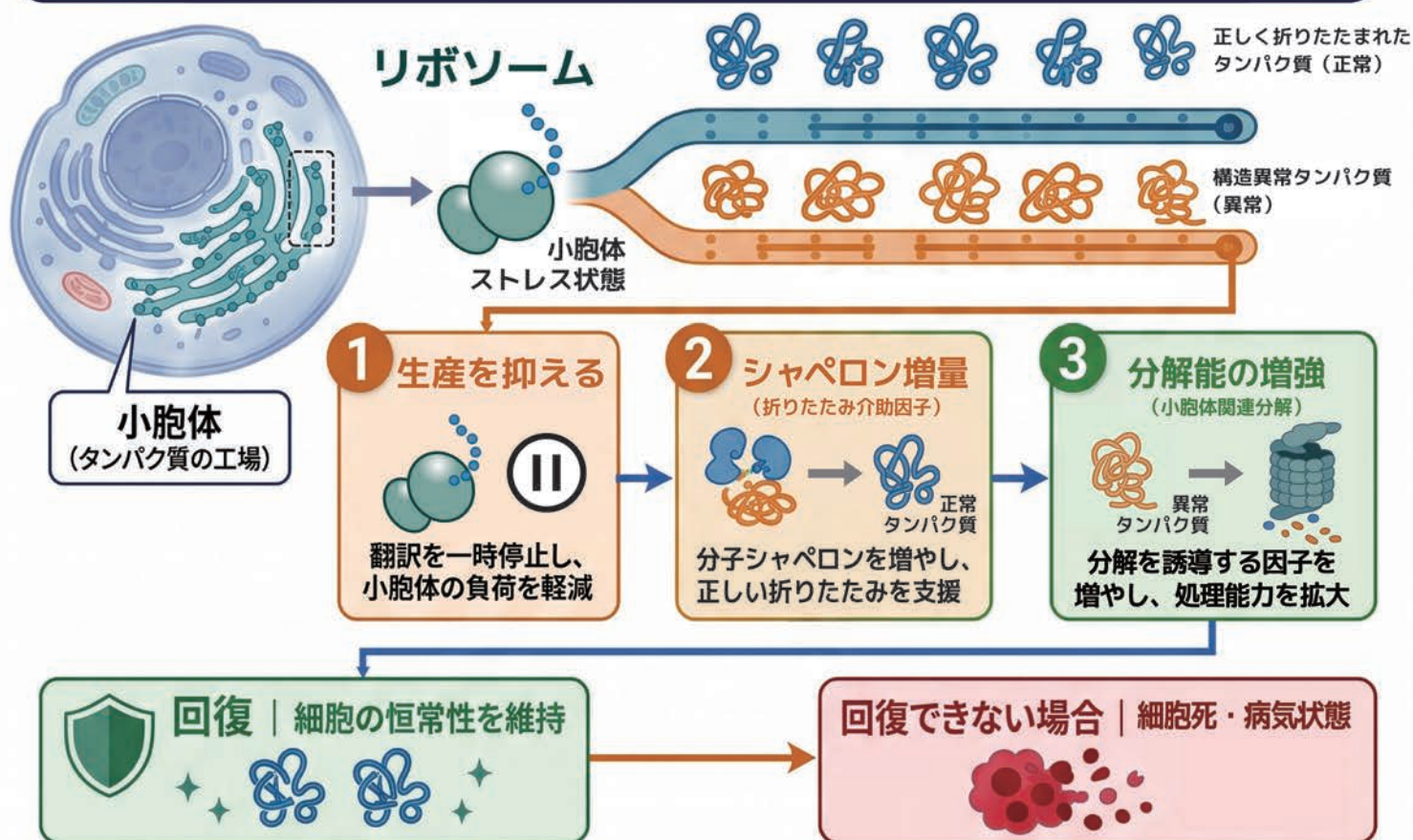


JIN BYUNGSEOK
助教
薬学部 薬学科



齊藤 峻介 助教
薬学部 薬学科

小胞体ストレス応答（細胞が自ら持っている復元力）



世界的な研究実績

- ▶ ラスカー基礎医学研究賞
- ▶ ガードナー国際賞
- ▶ 日本学士院賞・恩賜賞受賞



疾患の理解から、新しい治療法・創薬へ



がん



神経変性疾患



糖尿病



代謝性脂肪肝炎（MASH）



MEIJO UNIVERSITY

開学 100 周年記念
名城大学リサーチフェア 2026

ポスター
データ
PDF

